



はじめに

市民の皆様には、日ごろから市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本市の行財政や社会経済を巡る状況には、概して依然厳しいものがあり、産業、福祉、医療をはじめ多くの課題が山積しております。この厳しい状況を打開するためには、市民の皆様と力を携え、心とともに、多くの機関や人の信頼と連携を深めながら力を結集していくことが大切です。

だれひとり置き去りにされない、市民全員プレーの心の輪が広がるまちづくり、世界人類みな兄弟、市民全員みな兄弟の利他の心が広がる、徳の力があふれる、真の元気と共生のまちづくり。そして、海・山・里など多くの地域資源を活用し、住んでよかった、素晴らしいまちだと実感していただけるよう、懸命に行政運営に取り組んでまいりたいと思っています。

そのため、市の取り組みについて市民の皆様にお知らせするための情報提供のひとつとして、平成20年度の京丹後市の仕事をわかりやすく説明する「わかりやすいことしの予算」を引き続き発行することとしました。

市の予算というのは市民生活に多大な影響を及ぼす行政サービスの大要を定めるものですが、そもそも市民の皆様のものであり、市は、予算の内容をわかりやすく説明する責任があります。そこでこの冊子では、法律で定める通常の予算書では伝わらない予算の具体的な内容を図表や写真を活用し、行政用語や専門用語をできるだけわかりやすい言葉で説明するように心がけました。

また、京丹後市の財政状況をグラフなどで示し、市の台所事情を少しでも理解していただけるようにしていますので、疑問や市の課題を発見して議論する一助としていただき、行政と市民の皆様が力をあわせて、よりよいまちづくりをすすめるきっかけとなれば幸いです。

平成20年7月

京丹後市長 中山 泰

平成20年度 京丹後市の基本目標と予算規模について

◆基本目標

市民参加、市民協働を基調としつつ、『ひと、みず、みどり 歴史と文化が織りなす交流のまち』という京丹後市総合計画の将来像を実現するため、3つの基本的な考え方（基本理念）と6つの基本方針に沿って、活力と魅力あるまちづくりを推進します。財政状況が厳しい中でも社会資本整備のための投資的事業の実施、産業振興、環境保全、安全都市へのまちづくりなど新しい"夢"のある取り組みを積極的に行います。

◆3つの基本理念

- 豊かな自然や歴史・文化の恵みを活かし、世界に誇れるまちづくりをめざします
- ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします
- ひとが育ち、夢がふくらみ、未来に飛躍するまちづくりをめざします

◆6つの基本方針

- I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市
- II 暮らしの中でいのちが輝く 環境循環都市
- III 生きる喜びを共有できる 健やか安心都市
- IV 次代を担う若い力が活躍できる 生涯学習都市
- V 共に築き、結び合う パートナーシップ都市
- VI 災害に強く、快適で暮らしやすい うるおい安全都市

◆会計別予算規模

会 計 名	20年度6月補正後	20年度当初予算	19年度当初予算	対前年比
一 般 会 計	309億1,253万円	283億3,000万円	288億3,000万円	7.2%
国民健康保険事業特別会計	68億1,300万円	68億1,300万円	68億1,000万円	0.0%
国民健康保険直営診療所事業特別会計	4億3,900万円	4億3,900万円	4億2,700万円	2.8%
老人保健事業特別会計	8億5,603万円	7億7,100万円	67億3,000万円	△87.3%
後期高齢者医療事業特別会計	6億3,240万円	6億3,240万円		皆 増
介護保険事業特別会計	45億6,880万円	45億6,500万円	43億8,400万円	4.2%
介護サービス事業特別会計	6億5,799万円	6億5,700万円	7億 500万円	△6.7%
簡易水道事業特別会計	12億4,200万円	12億3,600万円	11億2,900万円	10.0%
集落排水事業特別会計	7億 300万円	7億 300万円	4億1,500万円	69.4%
公共下水道事業特別会計	39億 339万円	38億9,000万円	34億6,000万円	12.8%
浄化槽整備事業特別会計	1億2,300万円	1億2,300万円	7,750万円	58.7%
土地取得事業特別会計			200万円	皆 減
工業用地造成事業特別会計	10億3,500万円	10億3,500万円	6,700万円	1,444.8%
宅地造成事業特別会計	6,900万円	6,900万円	7,400万円	△6.8%
峰山財産区特別会計	660万円	660万円	670万円	△1.5%
五箇財産区特別会計	230万円	230万円	240万円	△4.2%
水道事業会計	21億5,246万円	21億4,800万円	15億 270万円	43.2%
病院事業会計	62億4,124万円	62億4,124万円	61億6,648万円	1.2%
総 計	603億5,774万円	576億6,154万円	607億8,878万円	△0.7%

※20年度当初予算が骨格予算のため、対前年比は19年度当初予算と20年度6月補正後の比較としています。

※後期高齢者医療事業特別会計を新設し、土地取得事業特別会計を廃止しています。

平成20年度の予算は、市長選挙の実施に伴い当初予算を骨格予算として編成し、6月定例会において政策的な経費などを肉付け計上したことから、今年度の「わかりやすいことしの予算」については、6月補正後の予算をベースに作成しました。総額を前年度当初予算と比較すると4億3,104万円、増減率0.7%の減となっています。また、一般会計で20億8,253万円、増減率7.2%の増と大きく増えていますが、ブロードバンドネットワーク整備や丹後保育所整備などの大型事業に本格的に着手することによるものです。

骨格予算とは

法律上の用語ではありませんが、市長や議会議員の改選を目前に控えている場合などに、新年度の予算は新体制で行うという考え方から、だれが市長になっても必ず予算化せざるを得ない、扶助費や公債費などの義務的経費を主体として、政策的経費や新規事業は極力盛り込まないで編成した予算のことです。

※政策的経費や新規事業は、選挙後の議会で補正予算として肉付け計上されます。